

完了後の評価個表

整理番号	23
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	高知県
地域（地区）名	あまき 安芸	事業実施主体	県、市町村、森林組合等
関係市町村	むろと 室戸市ほか8市町村	管理主体	県、市町村、森林組合等
事業実施期間	H23年度～H29年度（7年間）	完了後経過年数	5年

<p>事業の概要・目的</p>	<p>本地区は、徳島県と境界を接する県東部に位置している。地区の北部は1,400m級の山岳が連なり急峻な地形を形成し、土佐湾に面している南部は室戸岬を先端とした岬地形の海岸段丘が発達している。本県の主要河川である「奈半利川」をはじめとする各河川では、かんがい用水や発電用水等として本地区を水源とする水資源を活用している。</p> <p>本地区の民有林面積は70千haであり、国有林を含めると区域面積の90%を森林が占めている。森林資源の現況を見ると、人工林面積は41千ha（人工林率59%）、8齢級以上の林分が40千haを占めており優良な人工林が形成されている。</p> <p>このため、各市町村においては市町村森林整備計画を策定し、豊かな森林資源を活用した地域振興を目指している。また、森林資源の適正管理、有効利用の観点から、森林経営計画の策定エリア拡大を推進し、施業地の集約化を進め、高性能林業機械等による生産性の向上を図り、生産コスト縮減及び間伐材等の活用拡大を図ることとしている。</p> <p>このような背景から、本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給及び地域の活性化に貢献するため、植栽や間伐等の森林整備を積極的に実施するとともに、森林整備の効率的な実施及び木材等生産機能の維持増進を図るために必要な路網整備に取り組んだものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">森林整備</td> <td>2,233ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人工造林、下刈り、除伐、保育間伐、間伐、鳥獣害防止施設等整備、森林作業道整備</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">路網整備</td> <td>5,308m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>林道開設</td> </tr> </table> <p>・総事業費 3,024,104 千円（税抜き 2,749,185 千円）</p>	森林整備	2,233ha		人工造林、下刈り、除伐、保育間伐、間伐、鳥獣害防止施設等整備、森林作業道整備	路網整備	5,308m		林道開設
森林整備	2,233ha								
	人工造林、下刈り、除伐、保育間伐、間伐、鳥獣害防止施設等整備、森林作業道整備								
路網整備	5,308m								
	林道開設								

<p>① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化</p>	<p>令和5年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>事業着手以降、優先度に応じた事業の実施に伴い林道の施工延長が伸びる等事業量が増加したことを踏まえ、今回、費用便益分析を実施した。</p> <p>総便益（B） 11,536,323 千円 総費用（C） 4,762,037 千円 分析結果（B／C） 2.42</p>
<p>② 事業効果の発現状況</p>	<p>保育間伐、利用間伐等によって2,233haの森林が整備され、水源涵養^{かん}や山地保全等といった森林の有する公益的機能の維持推進が図られた。また、森林施業の集約化を図るとともに列状間伐や高性能林業機械を導入することで、より効率的な作業が行われ、木材の安定供給が確保された。</p> <p>林道の開設によって5,308mの路網が整備され、森林整備施業地までの到達時間の短縮等の作業コストの縮減が図られた。</p>
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>本事業で整備された森林は、森林経営計画に基づき継続して適切に管理されており、良好な管理状況にある。</p> <p>また、本事業で整備された林道は、除草作業や路面整備等が適切に実施されており、維持管理状況は良好である。</p>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備及び路網整備の実施により健全な森林が育成され、水源涵養や山地保全、木材の安定供給等といった森林の有する多面的機能が発揮されている。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>県内の林業就労者の減少幅は小さくなってきたが、林業を取り巻く環境は依然として厳しく、森林組合をはじめとする林業事業者等の事業規模も小さい状況である。こうした状況の中現場では、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が進められている。また、県内では大規模な木材加工施設やバイオマス発電施設等が稼働し、木材需要が拡大しており、今後木材の安定的な供給を通じて、ますます地域経済の振興に貢献していくことが求められる。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>当県では、再造林、間伐を重点課題に位置付け、地域ぐるみでの再造林の促進や間伐の推進に取り組んでいるところである。</p> <p>今後、主伐期を迎える人工林が増加する傾向にあるが、経営規模は零細かつ林道等の基盤整備も十分でないことから、生産性の向上及び労働強度の軽減を図るための機械化、特に傾斜地の多い地形条件や樹種等に対応した機械の導入や計画的な路網整備は重要な課題であり、これらと併せて森林施業の集約化に向けた対策を推進する必要がある。</p>

	<p>地元の意見：</p> <p>(高知県)</p> <p>森林環境保全整備事業を実施することで、水源涵養、土砂流出防止、生物多様性の保全等、森林の有する公益的機能の発揮に寄与しており、今後も適切かつ持続的な森林整備が必要と考えている。</p>
<p>評価結果</p>	<p>必要性： 森林の有する公益的機能を発揮させるためには、植栽や間伐等の森林整備が必要であるため、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 森林整備では、列状間伐や高性能林業機械による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることができている。また、現地に即した路網整備により、植栽から保育までの作業効率が高まることで作業コストの縮減が図られており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林資源の現況や路網の整備状況を踏まえた計画的な事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られ、引き続き、その効果が継続されていることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

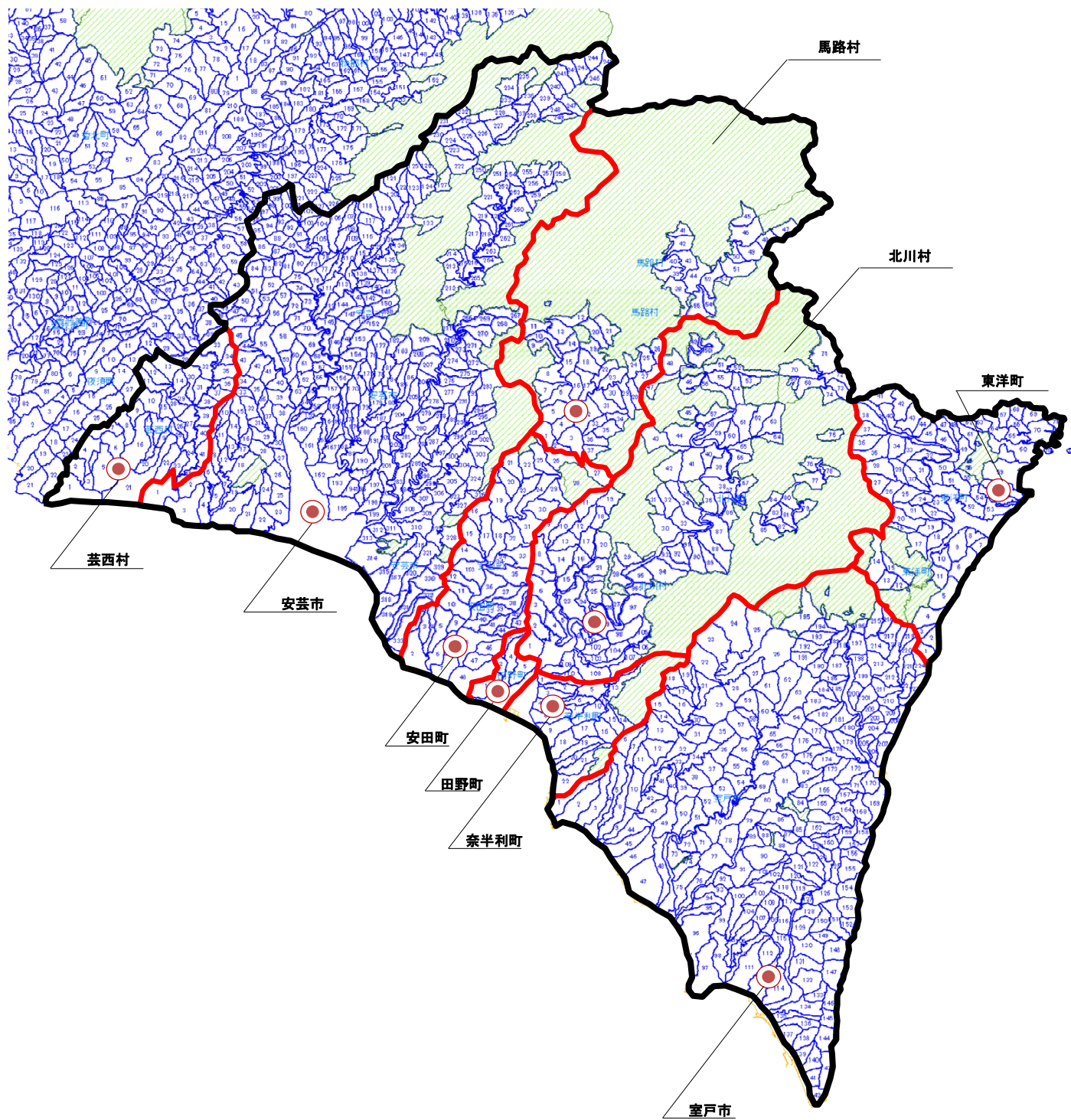
都道府県名：高知県

地域(地区)名：安芸





(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,952,393	
	流域貯水便益	783,963	
	水質浄化便益	2,004,232	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,918,773	
環境保全便益	炭素固定便益	777,445	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,140,655	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,958,862	
総 便 益 (B)		11,536,323	
総 費 用 (C)		4,762,037	
費用便益比	$B \div C = \frac{11,536,323}{4,762,037} = 2.42$		

森林環境保全整備事業 安芸地域(高知県) 森林整備位置図



凡例

	計画区界
	市町村界
	森林整備区域
	国有林